



**2019年3月期
決算説明会**

2019年5月14日

TOWA株式会社

本日の主な説明内容

1. 2019年3月期 実績
2. 2020年3月期 予想
3. 2020年3月期 取組み

本日の主な説明内容

- 1. 2019年3月期 実績**
2. 2020年3月期 予想
3. 2020年3月期 取組み

2019年3月期 連結業績結果（前年比）

（単位：億円）

	2018/3期 実績	修正予想 (2019年2月7日公表)	実績	前年比
売上高	310.1	282.5	282.7	▲ 8.8%
営業利益	36.8	5.5	9.3	▲ 74.6%
経常利益	35.4	5.5	9.3	▲ 73.5%
当期純利益	30.2	5.0	8.7	▲ 71.0%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

2019年3月期 サマリー

受注・売上

- ▶ メモリー価格の下落、スマートフォン需要の減速にともない、ハイエンドデバイス向けの設備投資が停滞。
- ▶ 米中貿易戦争の長期化により、企業心理が悪化。中国地域を中心に投資に慎重さが見られ、前期比で大きく減少。
- ▶ TSS事業は好調で前年比**16.6%増**。また受託加工が好調で、ツーリング事業（工具販売・受託加工）の売上は前年比**3.5倍**となる。

利益

- ▶ 売上高の減少に加え、コンプレッション装置の販売台数が減少し利益率が低下。
- ▶ 急激な需要の減速により先行手配していたプラットフォームなどが滞留在庫となり、社内の規定期間を超過。会計上の評価損が発生。
- ▶ 2018年8月に譲受したレーザ加工事業が堅調に推移し、初年度から**黒字化達成**。

2019年3月期 セグメント別売上高（前年比）

（単位：億円）

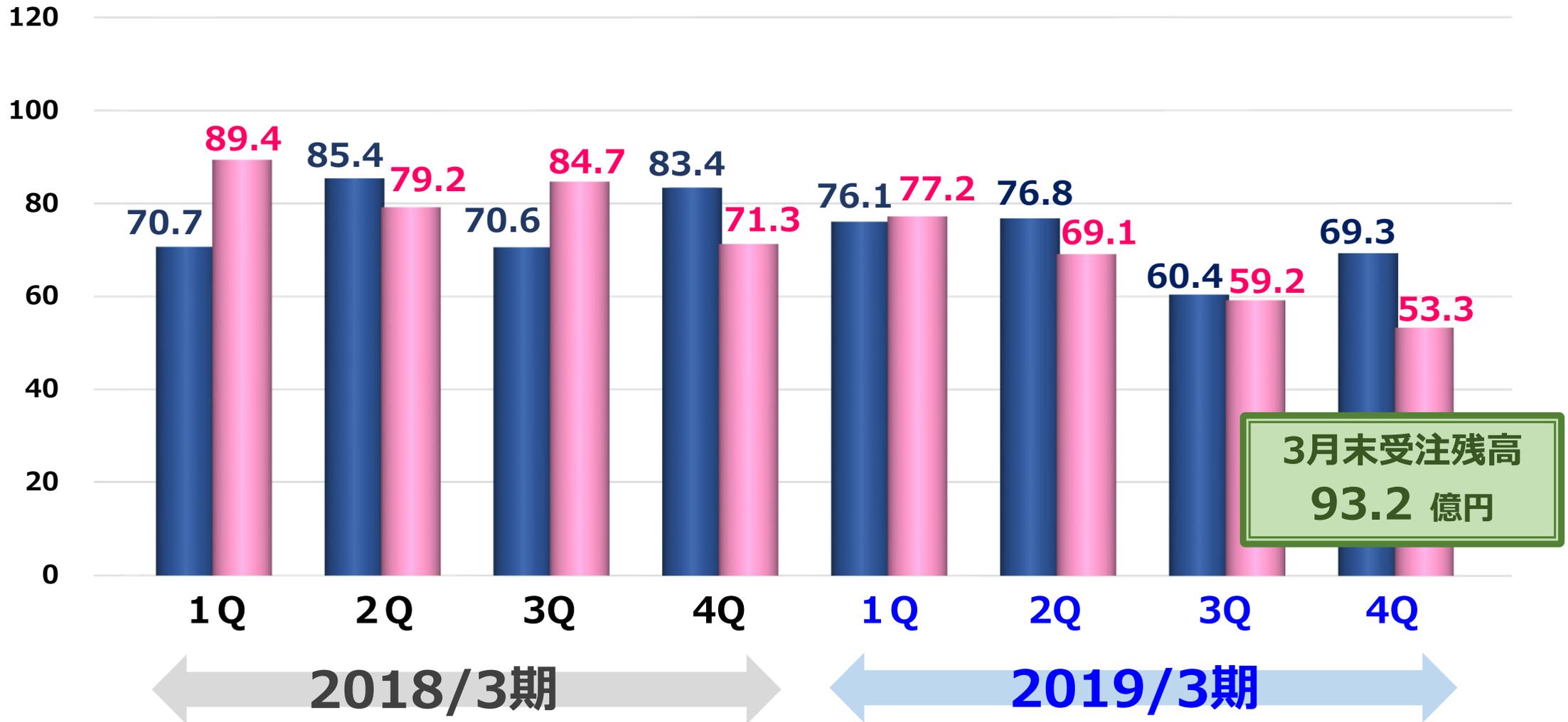
	2018/3期 実績	2019/3期 実績	増減額	前年比
売上高	310.1	282.7	▲ 27.4	▲ 8.8%
半導体事業	252.8	196.6	▲ 56.2	▲ 22.2%
化成品事業	14.3	16.0	+ 1.7	+ 11.9%
新事業	43.0	51.7	+ 8.7	+ 20.2%
レーザ加工 装置事業※	-	18.4	-	-

※オムロンレーザーフロント社の株式取得により2019/3期 2Qよりセグメントを追加

受注・売上高の推移

(単位：億円)

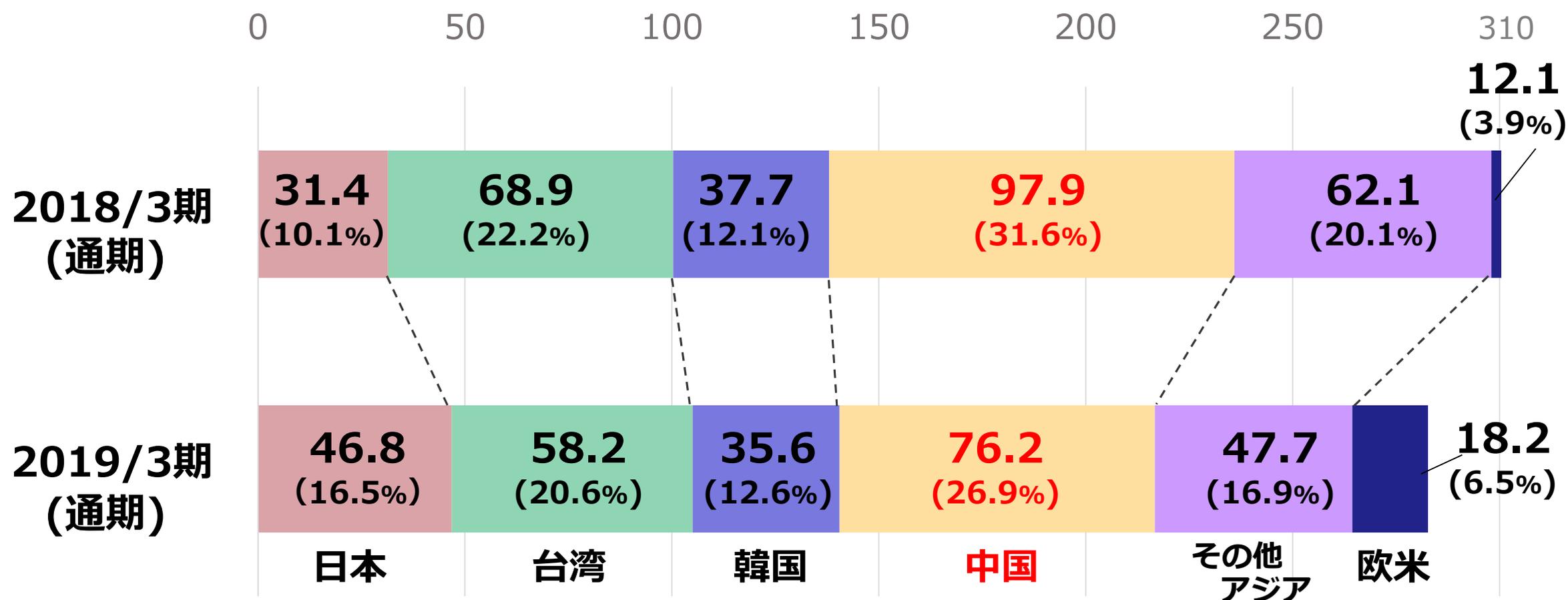
■ 売上高 ■ 受注高



2019年 3月期 地域別売上高（仕向地ベース）

中国を中心に主要な地域で減少

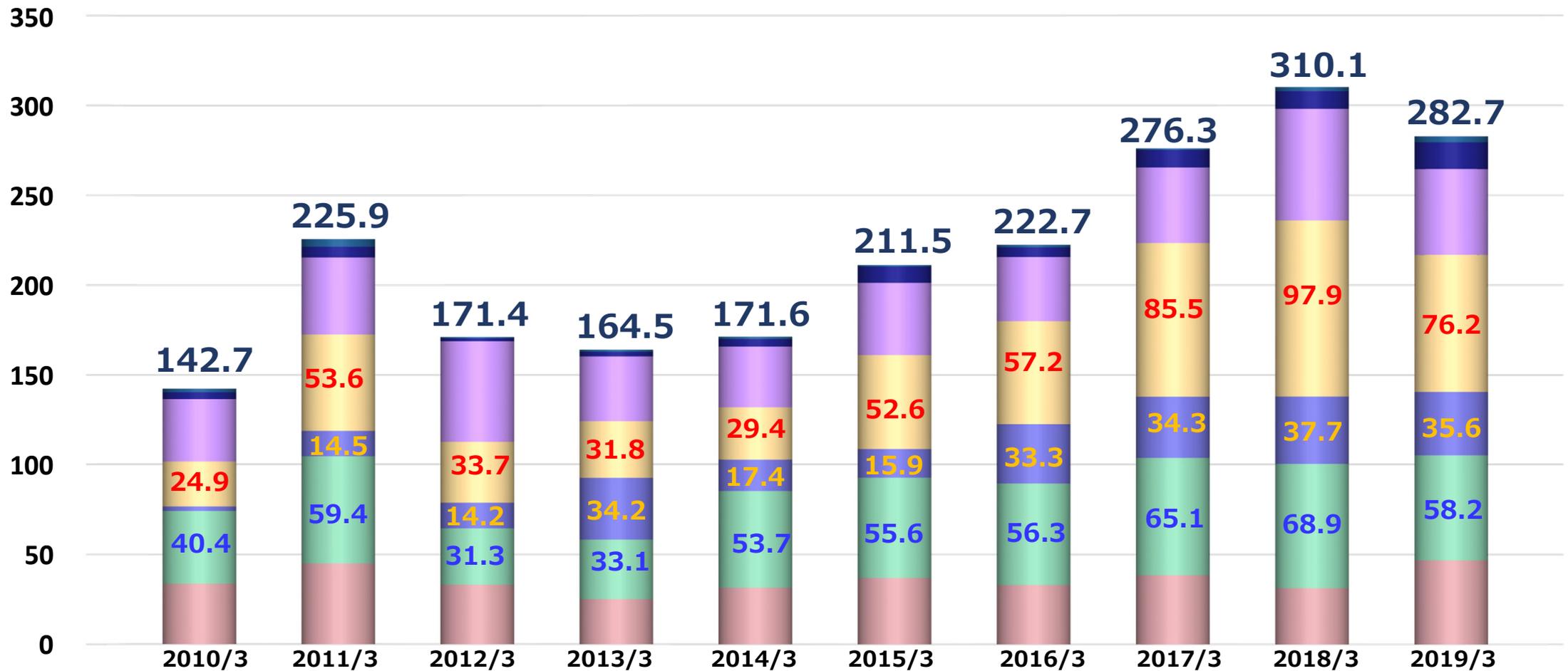
（単位：億円）



売上高の推移

■ 日本
 ■ 台湾
 ■ 韓国
 ■ 中国
 ■ その他アジア
 ■ 米州
 ■ 欧州

(単位：億円)



第1次中期経営計画

第2次中期経営計画

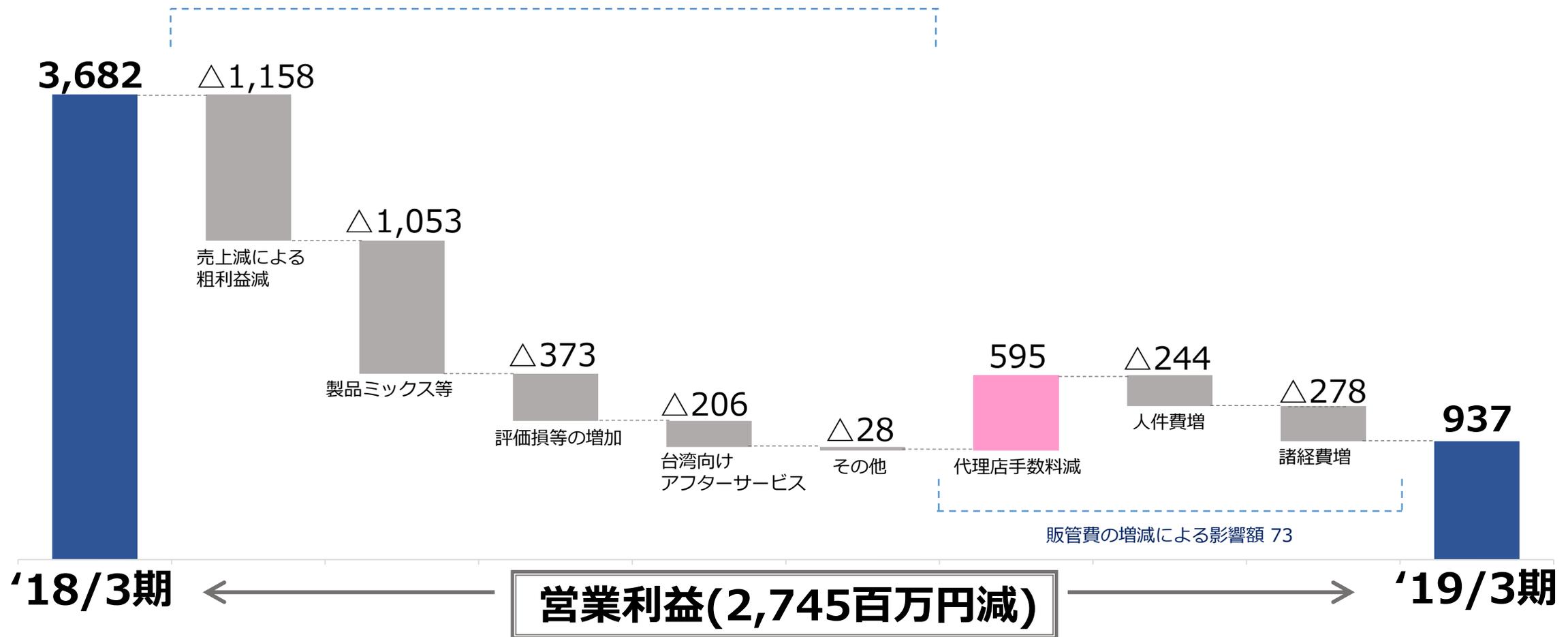
2019年3月期 連結営業利益 増減要因分析 (対前期)

(単位：百万円)

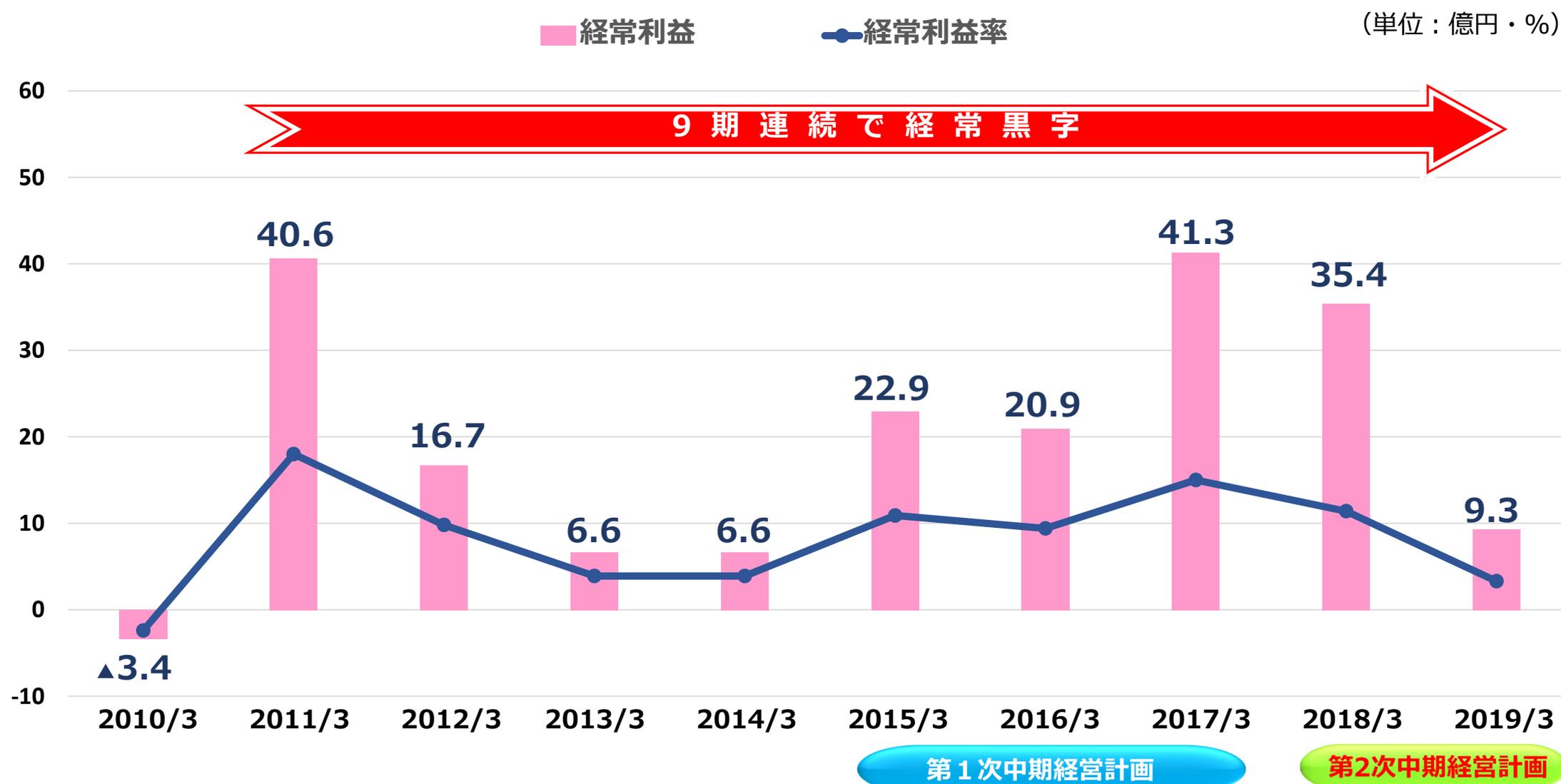
売上 31,010

売上 28,272

売上総利益への影響額 $\Delta 2,818$



経常利益の推移

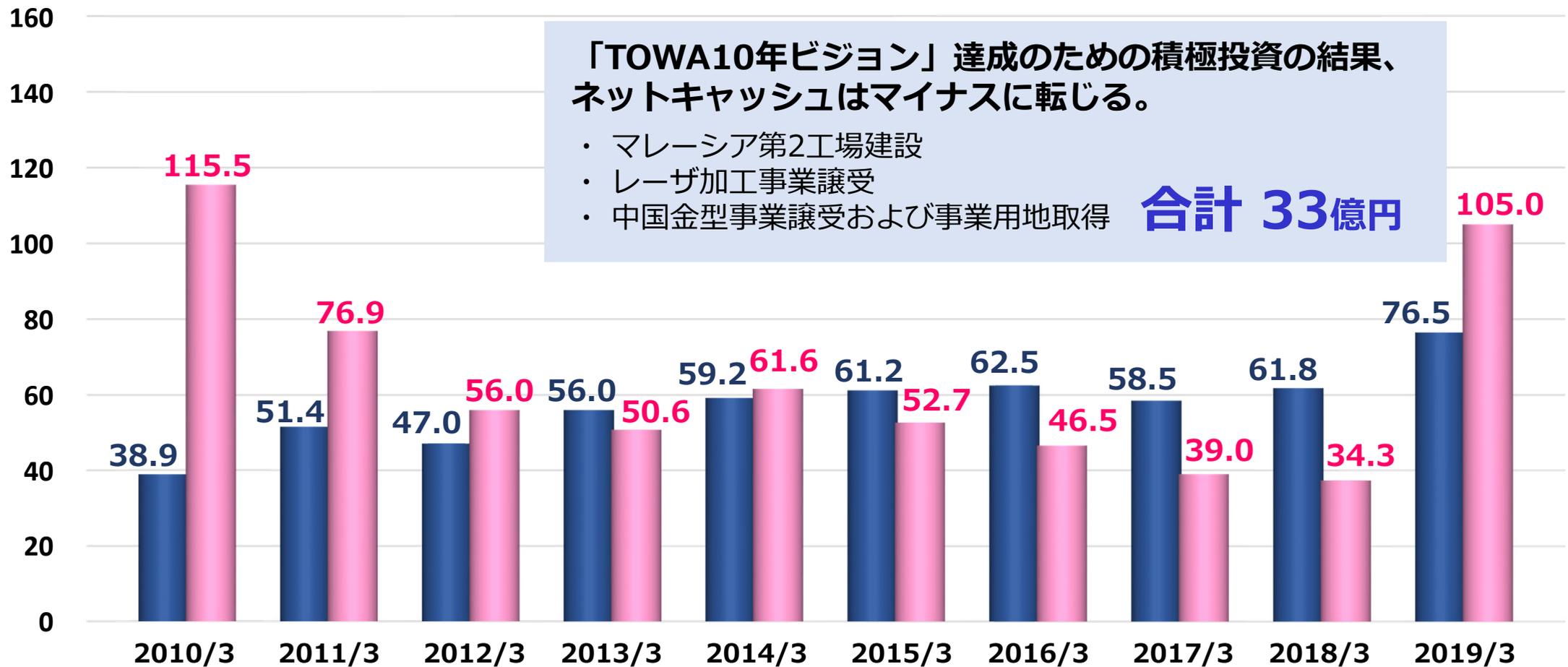


キャッシュ・フローの推移

■ 現預金残高

■ 借入金残高

(単位：億円)



「TOWA10年ビジョン」達成のための積極投資の結果、ネットキャッシュはマイナスに転じる。

- ・ マレーシア第2工場建設
- ・ レーザ加工事業譲受
- ・ 中国金型事業譲受および事業用地取得

合計 33億円

第1次中期経営計画

第2次中期経営計画

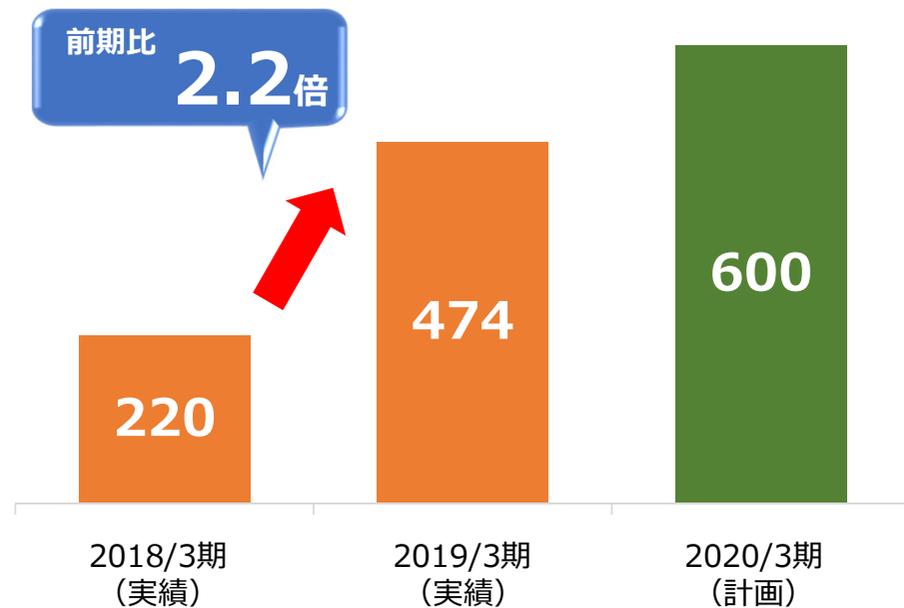
2019年 3月期 トピック

化成品事業 医療用機器売上

安定した量産体制の構築により売上が倍増

アドスプレー 売上実績&計画

(百万円)



レーザー事業 レーザ加工装置事業

子会社化（株式取得）初年度から黒字化を達成!!

売上高 1,845百万円

営業利益 172百万円

営業利益率 9.3%

(のれんの償却費を除いた営業利益)

営業利益 228百万円

営業利益率 12.4%

レーザー加工装置事業 売上実績&計画

(百万円)

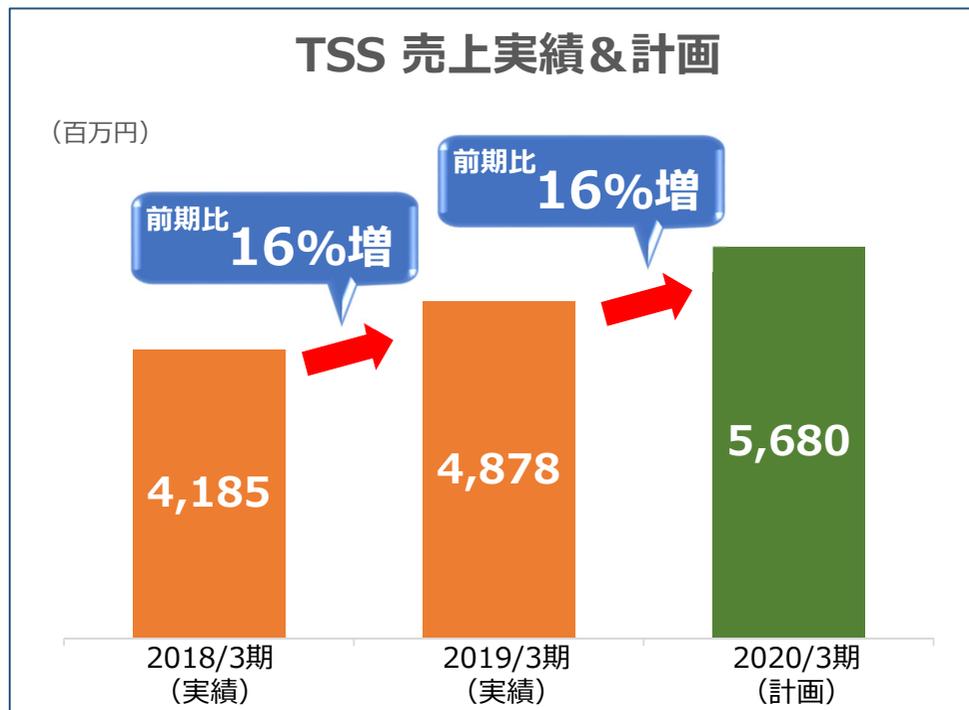


2019年 3月期 トピック

新事業

TSS売上の拡大

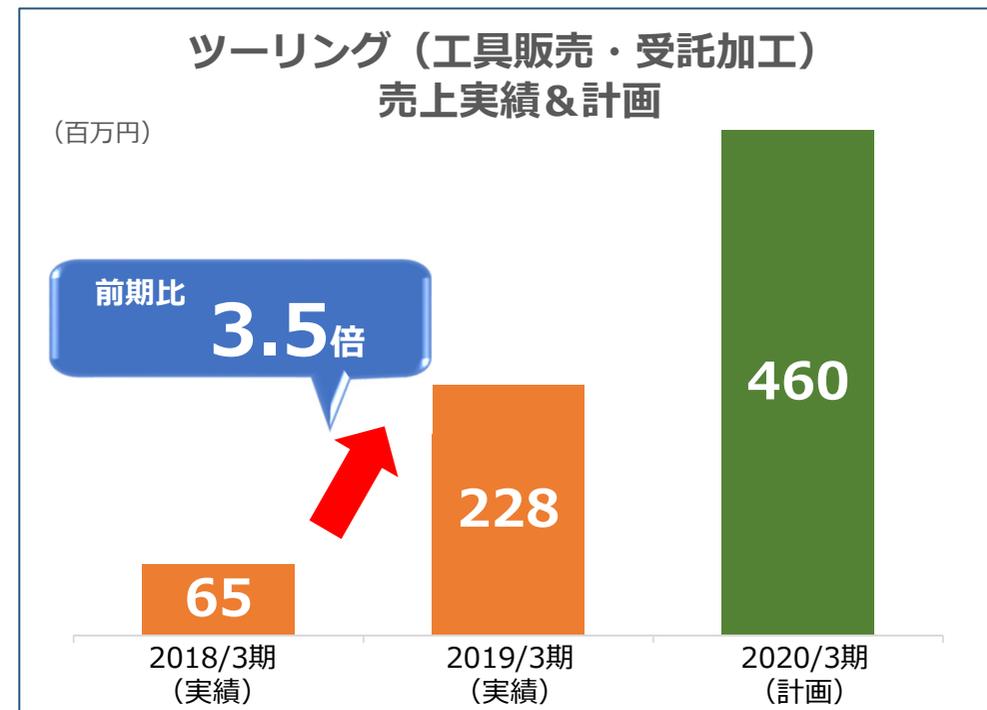
装置改造、中古機販売ビジネスによる売上拡大



新事業

受託加工が大きく伸張

自動車関連の受託加工が好調に推移し売上高が前期比3.5倍!!



本日の主な説明内容

1. 2019年3月期 実績
2. **2020年3月期 予想**
3. 2020年3月期 取組み

2020年3月期 通期 連結業績予想

(単位：億円)

	2019/3期 実績	2020/3期 予想	増減額	前年比
売上高	282.7	300.0	+ 17.3	+ 6.1%
営業利益	9.3	16.0	+ 6.7	+ 70.8%
経常利益	9.3	16.2	+ 6.9	+ 72.4%
当期純利益	8.7	11.6	+ 2.9	+ 32.7%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

2020年3月期 セグメント別売上予想

(単位：億円)

	2019/3期 実績	2020/3期 予想	増減額	前年比
売上高	282.7	300.0	+ 17.3	+ 6.1%
半導体事業	196.6	198.6	+ 2.0	+ 1.0%
化成品事業	16.0	16.0	± 0	-
新事業	51.7	64.4	+ 12.7	+ 24.6%
レーザ加工 装置事業	18.4	21.0	+ 2.6	+ 14.1%

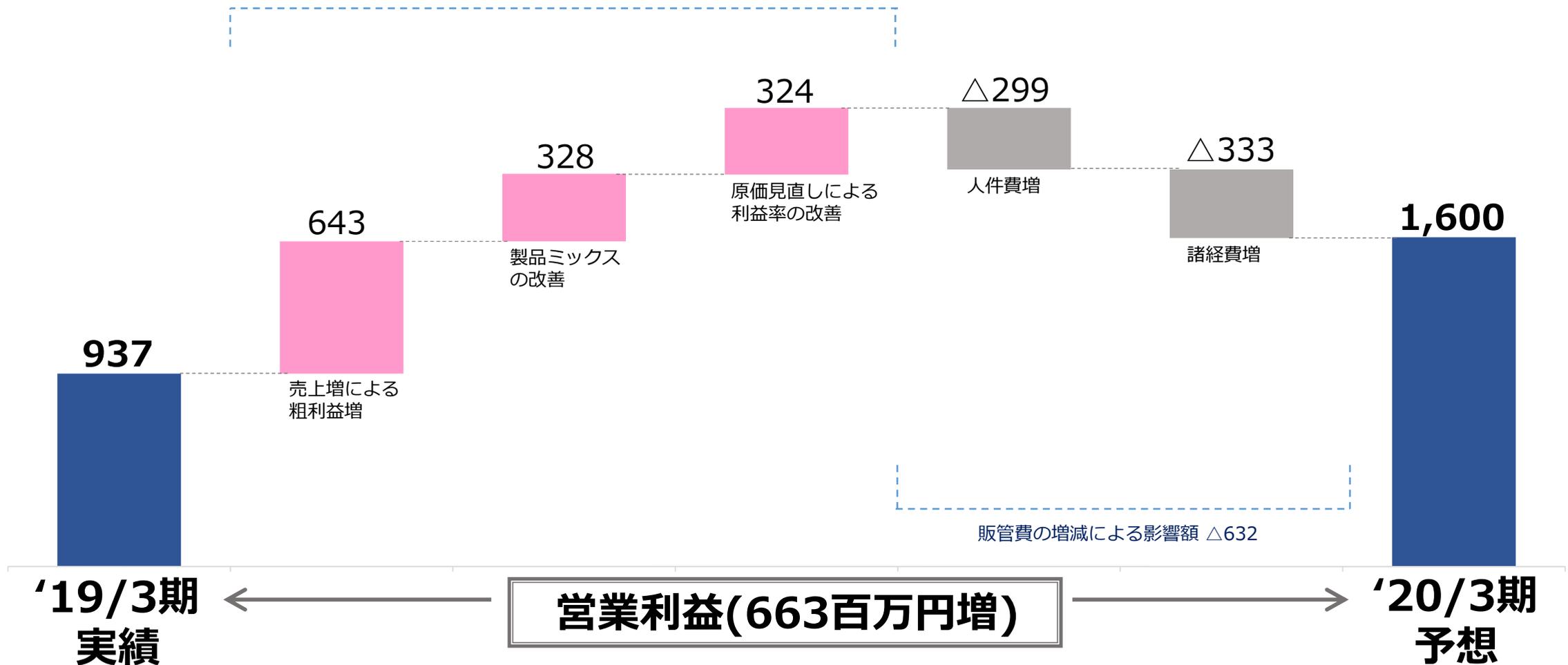
2020年3月期予想 連結営業利益 増減要因分析 (対前期)

(単位：百万円)

売上 28,272

売上 30,000

売上総利益への影響額 1,295



設備投資・配当予想

	2019/3期 実績	2020/3期 予想
設備投資	14.5億円	30.0億円
配当	16.0円	16.0円

※ 2020/3期の設備投資金額にはマレーシア新工場建設費用が含まれています。

本日の主な説明内容

1. 2019年3月期 実績
2. 2020年3月期 予想
3. 2020年3月期 取組み

TOWA 10年ビジョン

第1次中期経営計画

- ・欧州・米国にラボ設置
- ・CPMシリーズ発表
- ・SEMES社より事業譲受
- ・新事業推進本部 設置
- ・蘇州・九州工場 増築

第2次中期経営計画

- ・TOWAM新工場着工
- ・レーザー加工事業譲受
- ・中国金型事業譲受

第3次中期経営計画

(単位：億円)



2020年3月期 取り組み

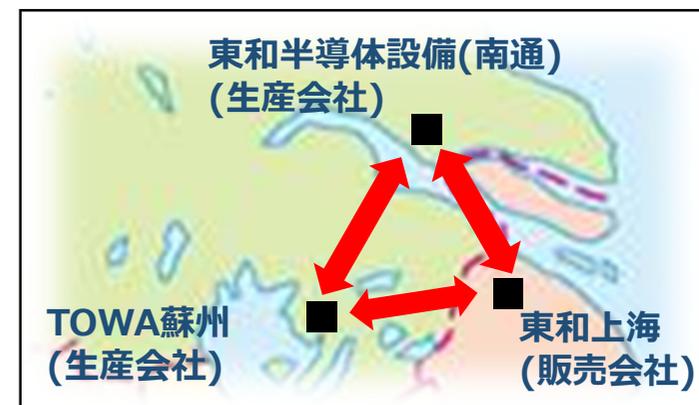
半導体

最先端パッケージ市場での更なる優位性の確保

下期市況回復時に収益力の改善を目指す!!

今期取り組み

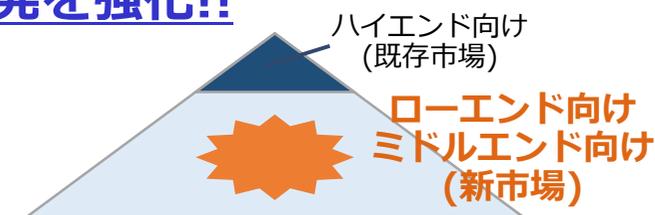
- 徹底的なコスト見直しによる利益率の改善
- 中国3社連携によるローエンド・ミドルエンド市場の開拓
- グループ開発体制の再構築
 - ・ TOWA韓国へトランスファ装置を移管
 - ・ TOWA蘇州へシンギュレーション装置を移管



長期取り組み

本社開発リソースを確保し車載系など一品一様の装置開発を強化!!

- 「ZERO DEFECT」による**第4次**モールドディング革命
- 「金型レーザクリーニング」による**第5次**モールドディング革命



世界のモールドプロセスをTOWAに!!

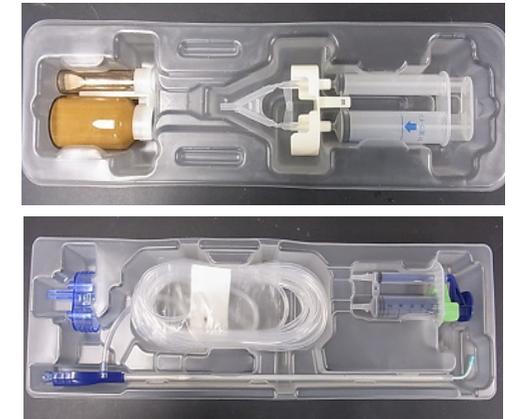
2020年3月期 取り組み

化成品 成型品事業の新市場開拓

- 医療用機器の供給拡大に向けた生産体制の構築
- クリーンルーム内での一貫生産（成形～組立工程）が可能
⇒ 国内でも数少ない設備の優位性をアピールし新規顧客を開拓
- 金属3Dプリンターを活用した化成品金型の展開
- 微細加工技術の応用展開

医療用機器

アドスプレー



クリーンルーム作業風景

2020年3月期 取り組み

新事業

TSS事業と新事業への経営資源投入による収益機会拡大

TSS

- TOWATEC株式会社を中心としたグローバルサービス・サポート体制構築
- 改造事業の拡大から装置再生事業への展開
⇒ 幅広いお客様にTOWAのモールドィング装置を販売可能に
- 東和南通製金型とTOWATEC中古機販売の連携

新事業

- 超精密加工技術による受託加工の積極展開
- 自社製工具のさらなる拡販（ラインナップ拡充）
- コーティング技術の応用展開
（コーティング+自社製工具、コーティング+受託加工）



2020年3月期 取り組み

コーポレート ガバナンス

コーポレートガバナンスの強化による更なる企業価値の向上

取締役会

- 社外取締役比率の向上にむけた検討の実施

CGコード

- 株主総会における権利行使の環境整備のため、議決権の電子行使プラットフォームを2020年6月株主総会より導入予定。
- 独立した諮問委員会設置について継続検討の実施

世界のモールドプロセスをTOWAに!!



TOWA 10年ビジョン

ものづくり企業の真価に挑む

《本資料に関するお問合せ》TOWA株式会社 企画部
〒601-8105 京都市南区上鳥羽上調子町5番地 Tel : 075-692-0251

本資料には当社グループの計画や方針、財務、技術、製品、サービス、業績等に係る将来予想に関する記述が含まれております。将来予想に関する記述は、あくまで当社グループが現時点において入手可能なデータや仮定、方法等に基づき、当社グループが判断したものであり、様々なリスクや不確定な要因を含んでおります。また、新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。したがって、本資料に含まれる将来に関する記述は、実際の結果とは大きく異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。